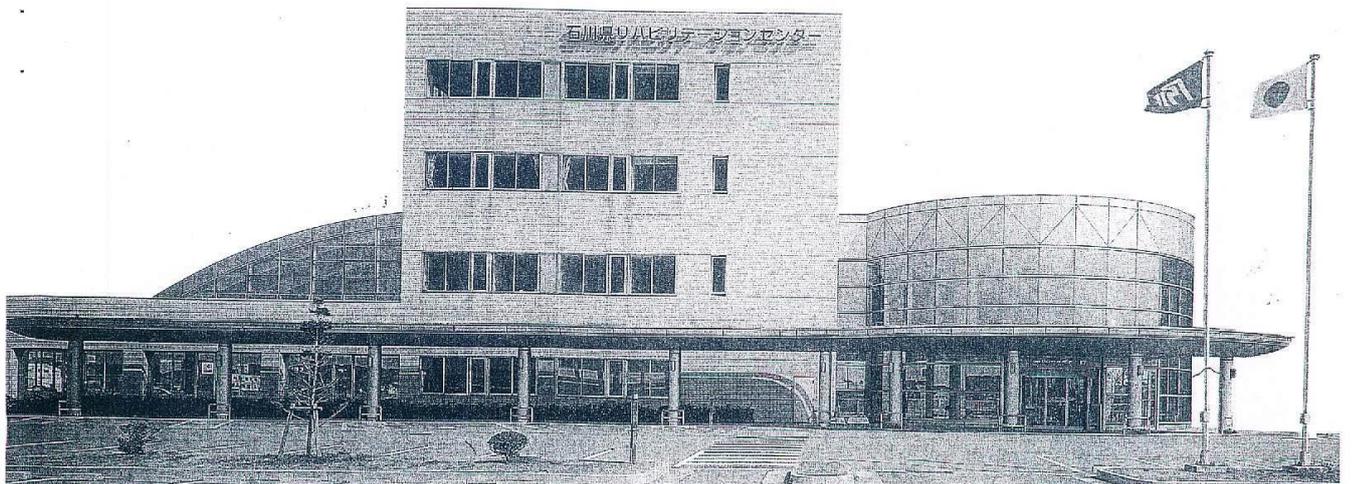


# 石川県リハビリテーションセンター

ISHIKAWA PREFECTURAL REHABILITATION CENTER

令和2年度事務提要



第1	施設の概要	2
第2	組織及び分掌事務	5
第3	職員数（令和2年4月1日現在）	6
第4	平成31年度の事業実績	
I	県リハビリテーション支援センターの状況	
1	地域リハビリテーション推進事業	
	（1）地域リハビリテーション推進検討会議の開催	7
	（2）地域リハビリテーション支援事業	7
	（3）リハビリテーション専門職広域派遣支援事業	9
2	支援指導事業	
	（1）研修	11
	（2）リハビリテーションに関する啓発普及	12
3	福祉用具研修・普及事業	
	（1）研修	13
	（2）普及事業	14
	（3）バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況	16
4	リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業	
	（1）地域における障害（児）者への自立支援機器の普及促進事業	18
	（2）自立支援機器活用研修事業	20
II	バリアフリー推進工房の状況	
1	福祉用具・住環境に関する相談・支援事業	23
2	研究開発事業	24
3	技術普及・啓発	25
4	福祉用具の貸出	26
III	難病相談・支援センターの状況	
1	難病相談	27
2	患者交流会	27
3	研修会	28
4	連携会議	31
5	職員派遣	32
6	啓発・普及	32
IV	高次脳機能障害相談・支援センターの状況	
1	高次脳機能障害相談	33
2	高次脳機能障害者及び家族を対象にした教室	33
3	高次脳機能障害支援に関する研修会	34
4	高次脳機能障害の普及啓発	35
5	高次脳機能障害支援関係者連絡会	36
6	患者・家族会支援	36

## 第1 施設の概要

### 1 庁舎

所在地 金沢市赤土町ニ 13-1

敷地面積 7,534.62㎡

建物 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建

延べ床面積 4,356.77㎡

1階床面積 1,864.42㎡

2階床面積 1,140.05㎡

3階床面積 676.15㎡

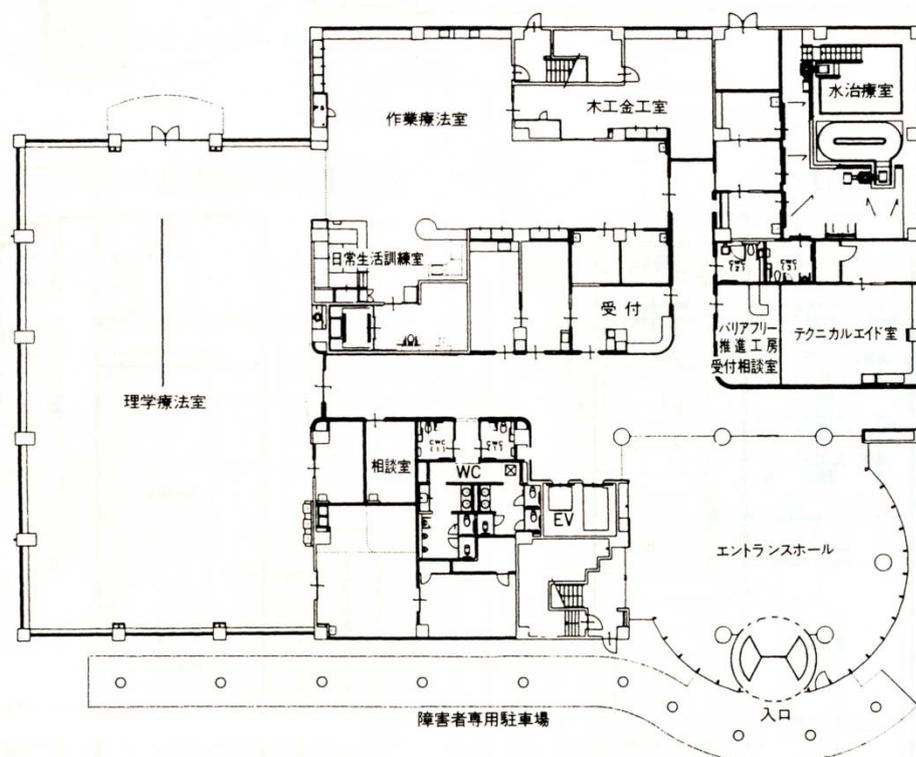
4階床面積 676.15㎡

その他 屋外訓練庭園 929.64㎡

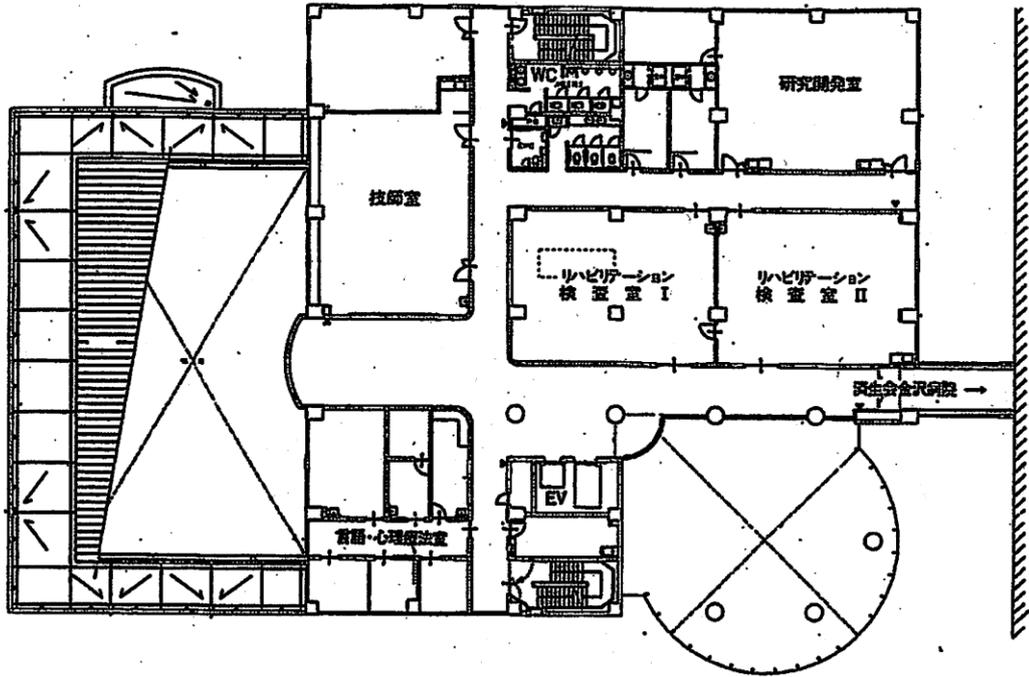
屋根付き障害者専用駐車場

プレハブ造車庫 46.75㎡

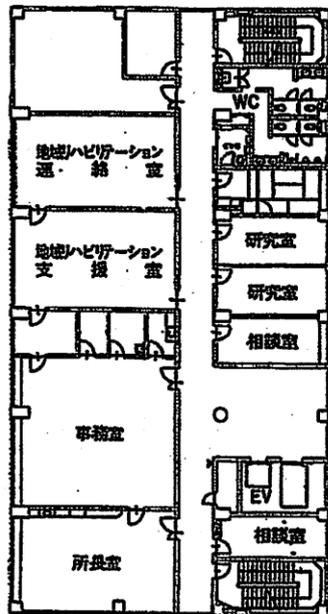
### 【1階平面図】



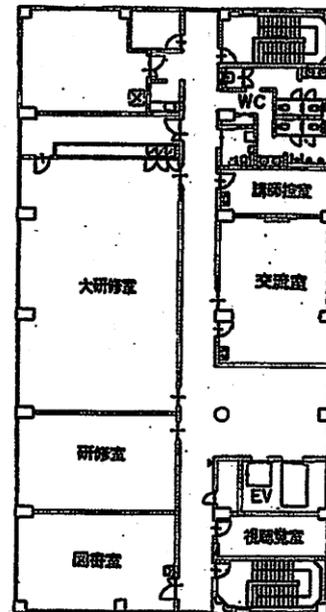
【2階平面図】



【3階平面図】



【4階平面図】



2 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家

建 物 鉄骨造 2階建

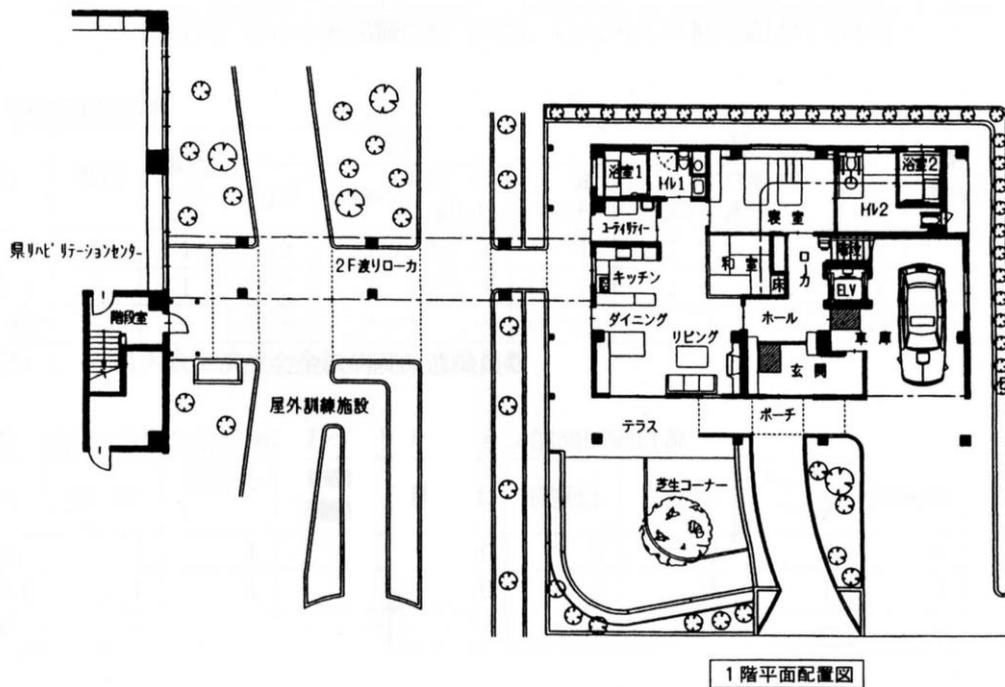
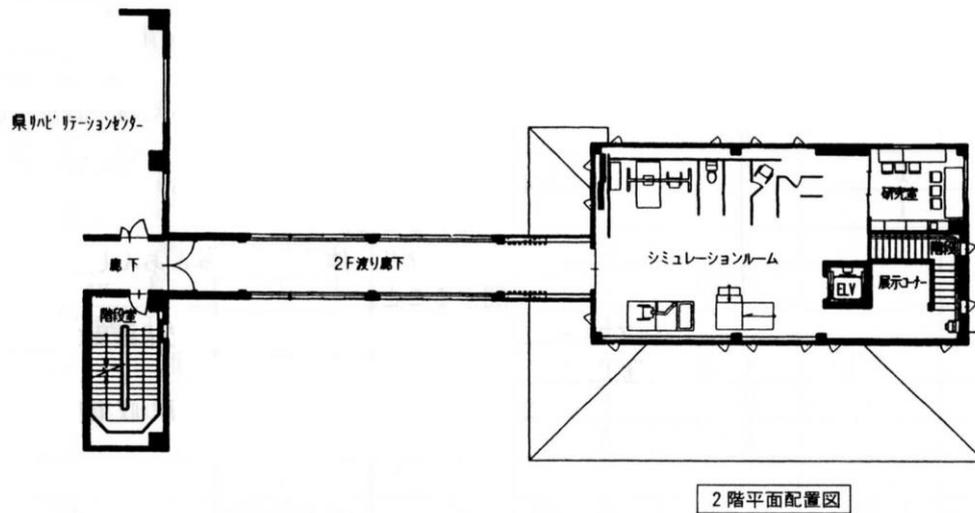
延べ面積 299.44㎡

1階 166.41㎡

2階 133.03㎡

そ の 他 渡り廊下 47.70㎡

計 347.14㎡



## 第2 組織及び分掌事務

<p>次長</p> <p>所長 —— (事務)</p> <p>(技術)</p>	<p>庶務課</p> <p>支援課</p> <p>バリアフリー 推進工房</p> <p>難病相談・ 支援センター</p> <p>高次脳機能 障害相談・ 支援センター</p>	<p>1 センター内の事務の連絡調整に関すること</p> <p>2 石川県済生会金沢病院との連絡調整に関すること</p> <p>3 他の課の所掌に属しない事項に関すること</p> <p>1 リハビリテーションに関する教育研修及び調査に関すること</p> <p>2 リハビリテーションに関する情報の収集及び提供に関すること</p> <p>3 リハビリテーションに関する知識の普及及び啓発に関すること</p> <p>4 リハビリテーションに関する地域活動の支援に関すること</p> <p>5 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家に関すること</p> <p>1 自立支援機器等の研究開発及び相談・指導に関すること</p> <p>2 自立支援機器等に関する情報の収集及び提供に関すること</p> <p>1 難病・小児慢性特定疾病児童等の相談に関すること</p> <p>2 患者・家族交流活動支援に関すること</p> <p>3 難病に関する研修及び情報収集・提供に関すること</p> <p>1 高次脳機能障害相談に関すること</p> <p>2 患者・家族交流活動支援に関すること</p> <p>3 高次脳機能障害に関する研修及び情報収集・提供に関すること</p>
---	--	---

### 第3 職員数（令和2年4月1日現在）

#### 1 事業別配置現員調

単位：人

区分	現員	総括	庶務課	支援課	バリアフリー 推進工房	医療提供 (派遣職員)
所長事務代理	①	①				①
次長・工房長	(1) 2	2			(1)	
課長	1			1		
担当課長	① 1			1	①	
主幹	① 4		2	2	①	
企画専門員	3			2	1	
難病相談専門員	1			1		
福祉専門員	1			1		
主任技師	4			4		
技師	1			1		
嘱託職員	4			4		
臨時職員						
計	(1)③ 22	① 2	2	17	(1)② 1	①

(注) ( ) は所内における兼務職員数で内数、○は所外の兼務職員数で外数

#### 2 職種別現員調

単位：人

区分	事務	事務 (福祉)	技 術							嘱託 臨時	計
			医師	保健師	理学 療法士	作業 療法士	リハビリ 工学士	その他	小計		
現員	3	1	(1)	4	1	7	2	(2)	(3) 18	4	(3) 22

(注) ( ) は派遣職員数で内数

## 第4 平成31年度の事業実績

### I 県リハビリテーション支援センターの状況

#### 1 地域リハビリテーション推進事業

##### (1) 地域リハビリテーション推進検討会議の開催

- ①目的：リハビリテーションに関する地域活動支援の推進を目的に、石川県リハビリテーションセンターの運営及び地域リハビリテーションに関することを検討する。
- ②会議の構成：学識経験者、医師会等職能団体、患者・障害者団体、市町等の代表者
- ③実施状況：令和2年3月19日（木）に開催予定であったが、COVID-19 のため中止とした。  
委員17名に下記の当日配付資料を郵送し、内容を確認の上、当センターの事業について郵送にて意見を収集し次年度事業の参考にした。
- 資料1 「石川県地域リハビリテーション推進検討会議開催要綱」  
資料2 「平成31年度 事業報告」  
資料3 「令和2年度 事業概要」  
資料4 「石川県リハビリテーションセンターニュース (Vol.47) 」  
資料5 「地域支援事業におけるリハビリテーションの実践報告集」

##### (2) 地域リハビリテーション支援事業

高齢者や障害者が住み慣れたところで生き生きとした生活が送れるよう、地域の医療、保健、福祉、教育、就労に係る機関に対して、リハビリテーション技術の支援及びリハビリテーション担当職員の人材育成のための研修を行う。

##### ① 他機関への個別支援

依 頼 機 関	件数
医療機関	316
障害者総合支援法関連施設（障害者施設等）	172
教育機関（特別支援学校、特別支援学級等）	179
介護保険法関連施設	94
訪問リハビリテーション事業所	156
保健福祉センター	18
障害者の相談支援事業所	194
市町	122
身体障害者更生相談所	0
難病相談・支援センター	67
高次脳機能障害相談・支援センター	122
職業関連施設	8
その他	141
合 計	1,589 件

② 福祉施設への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	0
環境調整や福祉用具の支援	8
リハビリテーション関係会議への参加	0
研修会講師	6
合 計	14 件

③ 教育機関への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	0
環境調整や福祉用具の支援	0
連絡会の参加	7
研修会講師	6
合 計	13 件

④ 市町、保健福祉センター等への事業支援

事 業 名	依 頼 元	回数
県障害者自立支援協議会 相談支援部会	県障害保健福祉課	1
介護支援専門員認定審査ポイント研修 講師	県長寿社会課	2
能美市地域自立支援協議会 定例支援会	能美市	5
我が事・丸ごとユニバーサル推進事業 会議	能美市	4
ノーマネットはくさん会議	白山市	2
難病患者・家族のつどい 講師	石川中央保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	石川中央保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	能登中部保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	南加賀保健福祉センター	1
パーキンソン病患者・家族のつどい 講師	南加賀保健福祉センター	1
難病患者・家族のつどい 講師	能登北部保健福祉センター	1
令和元年度 市町等身体障害者福祉事務担当者研修会 講師	県身体障害者更生相談所	1
補装具検討会議	県身体障害者更生相談所	1
出前講座(肩こり・腰痛予防) 講師	石川中央保健福祉センター	1
合 計		23 回

⑤ 他機関への講師派遣、その他事業支援

研 修 会 及 び 講 義 名	依 頼 元	回数
臨床看護概論「リハビリテーション」 講師	石川県立看護大学	3
在宅看護各論Ⅱ「在宅のリハビリテーション」 講師	石川県立総合看護専門学校	4
リハビリテーションセンターの概要、福祉用具を用いた自立支援 講師	金城大学 理学療法学科、作業療法学科 1年生	2
令和元年度 バリアフリー住宅改修講習会 講師	NPO法人バリアフリー総合研究所 県土木部建築住宅課	3
障害者自立支援機器シーズ・ニーズマッチング交流会 2019 講師	公益財団法人テクノエイド協会	1
令和元年度 都道府県リハビリテーション支援センター会議	全国地域リハビリテーションセンター 支援事業連絡協議会	1
令和元年度 バリアフリー北陸信越ブロック連絡会議 委員	北陸信越運輸局	1
合 計		15 回

(3) リハビリテーション専門職広域派遣支援事業

① 市町事業に関わるリハビリテーション専門職の育成研修

地域包括ケアシステムの推進に向けて市町が実施する総合事業に関与できるリハビリテーション専門職の育成を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)

実施年月日	研修内容及び講師	会場	参加者数
R1. 8. 31(土) 9:30～16:30	テーマ「リハビリテーション専門職活用支援事業」 第1部 特別講演 「地域包括ケアシステム時代に地域からみた リハビリテーション専門職に求められること —地域ケア会議・介護予防事業における役割—」 講師：株式会社ライフリー 代表取締役 佐藤孝臣 第2部 地域ケア会議と介護予防事業 「わが町の地域ケア会議・介護予防事業を知ろう」 ①地域ケア会議 職種別グループワーク 講師：石川県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 連絡会 ②介護予防事業「各市町における短期集中型(C型) サービスの紹介」 講師：金沢市健康政策課 主任 藏谷美緒 小松市長寿介護課 主幹 角地孝洋 志賀町健康福祉課 主任保健師 酒井祥代	リハビリテー ションセンター	113人

② リハビリテーション専門職の連携体制づくり

市町が実施する総合事業において、リハビリテーション専門職派遣の必要が生じた際に対応可能な体制をつくる。

(対象：県理学療法士、県作業療法士、県言語聴覚士会の代表)

ア リハビリテーション連絡会議の開催 (計5回)

回	実施年月日	議 題	会 場
1	R1. 5. 10(金) 16:30～18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハ専門職協力者登録に向け、登録者の確認と更新方法について</li> <li>・今年度のリハ専門職活用支援事業について</li> <li>・今年度のリハビリテーションセンターの事業の紹介</li> </ul>	リハビリテー ションセンター
2	R1. 6. 21(金) 16:30～18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハ専門職協力者登録の最終確認と掲載方法について</li> <li>・市町事業に関わるリハ専門職育成研修の内容検討</li> <li>・委託事業について(各市町のPT・OT・ST連絡会の活動状況の確認)</li> </ul>	〃
3	R1. 8. 7(水) 16:30～18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町事業に関わるリハ専門職の育成研修の内容検討</li> <li>・委託事業の内容検討</li> <li>・リハ専門職協力者の登録・HP掲載、市町への周知について(報告)</li> </ul>	〃
4	R1. 10. 7(月) 16:30～18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町事業に関わるリハ専門職育成研修の結果について(報告)</li> <li>・委託事業(実践報告会)の講師・報告者の検討</li> </ul>	〃
5	R1. 10. 30(水) 16:30～18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般介護予防事業の平成30年度の実施状況について</li> <li>・委託事業(実践報告会)の具体的な内容と報告集の作成について</li> </ul>	〃

イ 啓発・普及のためのモデル事業（シンポジウム）の開催

i) 実践報告会の開催

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
R2. 2. 16(日) 9:00～13:00	<p>テーマ「地域包括ケアとリハビリテーション」 ～地域支援事業におけるリハビリテーションの実践報告～</p> <p>第1部 特別講演 「これからの診療・介護報酬改定に向けたリハビリテーションの在り方」 芳珠記念病院 理事長 仲井培雄</p> <p>「石川県地域医療構想とリハビリテーション」 石川県健康福祉部 地域医療推進室 室次長 木村慎吾</p> <p>第2部 実践報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域ケア会議（加賀市、小松市、羽咋市）</li> <li>2 短期集中予防サービス（野々市市、中能登町）</li> <li>3 通所型サービス（かほく市、志賀町）</li> <li>4 フレイル予防（金沢市）</li> </ol>	いしかわ総合スポーツセンター 会議室	199人

ii) 実践報告集の作成と配布（500部）

リハ専門職による地域支援事業の効果的な取り組み内容をまとめ、各市町の担当窓口、地域包括支援センター、実践報告会参加者に配布。

## 2 支援指導事業

### (1) 研 修

#### ①リハビリテーション医療専門職研修会

リハビリテーション医療に関する最新情報や先進的な取り組み、リハ専門職の関わりが求められる内容等について研修会を開催し、リハ専門職の資質向上を図る。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 7. 13(土) 14:00～17:00	「失語症者向け意思疎通支援事業の意義と実践的取り組み」 講師：NPO法人 言語障害者の社会参加を支援する パートナーの会 和音 代表理事 宇野園子（言語聴覚士） 「県内の失語症者向け意思疎通支援事業に向けた取り組み」 講師：(公社)石川県言語聴覚士会 理事 田畑美香 (言語聴覚士)	リハビリ テーショ ンセン ター	49人
R1. 11. 9(土) 13:30～16:30	「自動車運転再開の取り組みについて」 講演1:脳損傷者の自動車運転再開支援の取り組みについて 講師:産業医科大学若松病院 リハビリテーション科診療科長 産業医科リハビリテーション医学講座講師 加藤徳明 講演2:障害者の運転に関する道路交通法と運転適性相談の状 況について 講師：石川県警察本部交通部運転免許課 釜親文彦 報告：当センター自動車運転支援について 見学：自動車運転評価装置の紹介（希望者のみ）	〃	68
R2. 1. 19(日) 13:30～16:30	「在宅生活に向けた呼吸ケアの考え方」 講師：愛知医科大学病院 リハビリテーション部 技師長 岸川典明（理学療法士）	〃	110
合 計			227人

#### ②教職員リハビリテーション研修

障害のある児童・生徒を担当する教職員に対して、学校生活における自立支援及び社会参加のためのリハビリテーションに関する知識、技術の向上を図る。

(対象：特別支援学校や特別支援学級の教職員等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 7. 26(金) 10:00～15:30	<b>【全体講演会】</b> 「重い障害のある子どもたちと発見した可能性」 講師：社会福祉法人愛徳福祉会大阪発達総合療育センター リハビリテーション部長 黒澤淳二（作業療法士） <b>【選択講座】</b> ①小児慢性特定疾患等自立支援事業について 講師：難病相談支援センター職員 ②発達領域における福祉用具を用いたリハビリテーション支援 ～座位姿勢と机上活動～ 講師：社会福祉法人愛徳福祉会大阪発達総合療育センター リハビリテーション部長 黒澤淳二（作業療法士）	いしかわ 特別支援 学校	184人

(2) リハビリテーションに関する啓発普及

県内のリハビリテーション関係者ならびに医療・福祉関係機関等に対して当センターの活動及び関連情報等を紹介し、リハビリテーションの普及啓発を図る。

- ① リハビリテーションセンターニュース 5月号 No. 46、3月号 No. 47 を各 2， 100部発行  
(対象：県、市町、保健福祉関係団体、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が勤務する機関、地域包括支援センター、障害者の相談支援事業所、居宅介護支援事業所、福祉用具サービス事業所、特別支援学校・学級、介護老人福祉施設、障害者福祉サービス事業所、児童発達支援センター、障害児通所支援事業所等)
- ② ホームページによる情報発信（随時更新）

### 3 福祉用具研修・普及事業

#### (1) 研修

##### ① 補装具に関する研修会

補装具費支給制度に関する最新情報を提供するための研修を実施する。

(対象：補装具費取扱業者、医療機関職員、福祉施設職員等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
R1.6.8.(土) 14:00～16:30	テーマ「補装具の支給制度を学ぼう！」 ①令和元年度補装具費支給制度の概要 ②補装具申請の具体的流れ 講師：身体障害者更生相談所職員 リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	115人

##### ② 福祉用具活用研修会

障害者の自立度向上や介護者の負担軽減を目的とした福祉用具等の活用方法に関する実技研修を実施する。

(対象：在宅ケアに関わる訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、介護老人保健施設、地域包括支援センター、行政機関等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
R1.7.3(水) 10:30～15:30	テーマ「できるを支える起居・移乗動作～福祉用具に触れて、体験しよう～」	能登中部保健福祉センター	15人
R1.7.9(火) 10:30～15:30	講義 ①自分の身体を守る動作と介助方法 ②能力に合った起居・移乗動作を考える 実技 「福祉用具を利用した立位移乗・座位移乗・介助移乗を体験しよう！」	南加賀保健福祉センター	24人
R1.7.23(火) 10:30～15:30	講師 リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	22人

##### ③ 職場環境改善研修会

福祉用具の活用による介護従事者の介護負担軽減について施設管理者および現場のリーダーとなる専門職が、福祉用具を効果的に定着するためのチーム作りや導入から定着に繋げていくアプローチのノウハウを学ぶ。

(対象：高齢者・障害者関連施設の施設長、事務長、医療・福祉の専門職等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
R1.10.25(金) 13:30～16:00	講義：「自立支援機器を目的とした介護ロボットや福祉用具が施設に定着するために～チーム作り、プログラム作りをどうすべきか～」 講師：介護老人保健施設ひうな荘 森山由香(理学療法士)  県内の実践報告：「菫仙会における取り組み紹介」 講師：社会医療法人財団菫仙会 部長 進藤浩美(作業療法士)	リハビリテーションセンター	47人

(2) 普及事業

① バリアフリー普及・啓発事業

障害者や高齢者の自立生活や社会参加を促進することの重要性について理解を深め、バリアフリー環境の大切さや自然に支え合うことができる社会の実現を目指す普及・啓発を行う。

(対象：一般県民)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 9. 22(日) 10:00～16:00	障害者ふれあいフェスティバル 出展テーマ：「みんなで一緒に出かけよう」 ①車椅子セミナー (講義、実技、当事者のデモンストレーション) ②福祉用具(電動車椅子や車椅子)、福祉車両展示・体験 ③パネル展示及びスライドショー(お出かけ先のバリアフリー情報) ④相談コーナー	産業展示館 4号館	16,000 人 (来場者数)
R1. 10. 12(土) 10:00～16:00	いしかわ介護フェスタ「福祉機器・介護ロボットコーナー」 ※ 台風のため中止	産業展示館 1号館	—

② 県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生のための福祉用具・住環境技術実習

当センターに設置されているバリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」や専門的な福祉用具を活用し、住宅改修や福祉用具の適合等の専門的な技術支援について実技指導を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生等)

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
R1. 6. 18(火) 13:30～16:00	・移乗動作と福祉用具について(講義と実技) (簡易移乗機・トランスファーボード・リフト等)	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学療法学専攻3年	21
R1. 6. 25(火) 13:30～16:00	・片麻痺・対麻痺のADL(トイレ・入浴)や住環境について(講義と実技)	〃	21
R1. 7. 2(火) 13:30～16:00	・移動(車椅子、クッション含む)について (講義と実技)	〃	21
R1. 8. 26(月) ～8. 30(金)	・臨床見学実習	金城大学医療健康学部 作業療法学科2年	1
R1. 9. 2(月) 10:00～16:00	・リハセンター事業説明 ・住環境について ・シーティングについて ・コミュニケーションについて ・自動車運転について	国際医療福祉専門学校七尾校 作業療法学科2年	8
R1. 9. 2(月) 10:00～16:00	・リハセンター事業説明 ・福祉用具、車椅子について ・自動車運転について ・施設見学(済生会金沢病院・ほっとあんしんの家) ・医療従事者(理学療法士)としての心構えについて	国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科1年	24

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
R1. 9. 3. (火) 13:10~15:25	・リハセンター概要説明 ・施設見学（済生会金沢病院・ほっとあんしんの家）	金沢大学医薬保健学域保健学類理学・作業療法学専攻2年生	38
R1. 12. 18(水) 9:00~16:30	・日常生活動作実習の課題提示 ・以上について（講義と実技） ・ほっとあんしんの家見学	金沢リハビリテーションアカデミー理学療法学科・作業療法学科1年	63
R1. 12. 19(木) 9:00~16:30	・身体特性と車椅子との関係（講義） ・車椅子（クッション含む）について（実技） ・リハセンター（地域リハ・推進工房）の紹介	〃	63
R1. 12. 20(金) 9:00~16:30	・住環境について（講義） ・日常生活動作実習	〃	63
R2. 1. 29(水) 9:00~16:30	・発表準備 ・日常生活動作実習（発表）	〃	63
R2. 1. 30(木) 9:00~16:30	・施設見学（済生会金沢病院・リハセンター） ・リハセンター（地域リハ・推進工房）の紹介 ・移動（福祉車両）について（講義） ・自動車シミュレーション見学、体験 ・難病・高次脳機能障害相談支援センターの紹介	〃	63
R2. 1. 31(金) 9:00~16:30	・コミュニケーションについて（講義と実技） ・日常生活動作実習の考察まとめ（再発表） ・日常生活動作について（講義）	〃	63
R2. 2. 17(月) ~2. 21(金)	・臨床見学実習	金城大学医療健康学部作業療法学科2年	2
計			514人

- ③ テクニカルエイド普及展示会（※テクニカルエイド:福祉用具や住環境に関するリハビリテーション技術支援）  
福祉用具の利用や環境改善によるリハビリテーション技術支援が、障害のある子どもたちの自立度を高めるために役立つことを学ぶ機会として展示会を開催する。  
（対象：特別支援学校や特別支援学級の教職員等）

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
R1. 7. 26 (金) 10:00~15:30	福祉用具・福祉車両の展示	いしかわ特別支援学校	184人

④ リハビリテーションセンターでの見学実習及び体験学習

バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」を利用した住宅改修や福祉用具適合等の専門的な支援技術、車椅子や自助具等の活用方法、高齢者や障害者への接し方等について見学・体験学習を行い、リハビリテーションやバリアフリー技術について普及する。

ア 医療・保健・福祉・工学関係分野の学生や団体等を対象にした体験学習

	高 校	専門学校	短大・大学	企業・法人	その他	合 計
受入団体数	3	8	7	10	30	58 件
見学者数	64	85	97	129	566	941 人

イ 小・中学生（ジュニアコース）を対象にした体験学習

	小学校	中学校	合計
受入団体数	5	4	9 件
体験者数	323	147	470 人

ウ 高齢者疑似体験用具の貸出

	小学校	中学校	高 校	専門学校	企業・法人	その他	合計
貸出件数	15	13	3	6	17	11	65 件

(3) バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況

高齢者や障害者が住みやすいバリアフリー住宅の見学・体験を受け入れるとともに、県内の医療・福祉関係者、企業等に対して福祉用具や住環境に関する研究、開発、教育の場を提供し、必要に応じて外部の有識者等による技術支援を行う。

区 分	内 容	H31 年度 利用人数	H31 年度 利用件数
研究・開発	県内企業・団体等における福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発の場として利用	90	19
テクニカルエイド相談 〔福祉用具や住環境を用 いた障害者の自立支援〕	障害者や高齢者の自立生活を促進するための福祉用具の試用・適合、住宅プラン等を検討する場として利用	380	94
研修教育	先端的なバリアフリー体験住宅により、医療・福祉専門職や学生等の教育研修の場として利用	2,078	68
一般見学	生涯住宅としてのバリアフリー住宅の提案の場として利用	644	71
合 計		3,192 人	252 件

<参考> ほっとあんしんの家の利用状況

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利 用 総 数	平成27年度	件数	19	22	31	29	25	28	33	33	20	22	28	28	318	
		人数	56	191	336	331	274	379	399	404	184	146	706	214	3,620	
	平成28年度	件数	18	20	32	26	29	28	25	29	23	18	37	35	320	
		人数	130	148	174	289	163	264	350	327	112	132	827	222	3,138	
	平成29年度	件数	25	29	24	39	37	27	35	24	23	19	21	30	333	
		人数	173	225	471	359	199	269	444	96	237	120	406	298	3,297	
	平成30年度	件数	16	23	26	28	38	21	39	26	26	18	22	24	307	
		人数	46	141	259	409	202	204	824	324	360	178	325	244	3,516	
	令和元年度	件数	22	25	32	35	22	19	24	27	11	10	9	16	252	
		人数	108	259	323	559	165	508	291	402	250	212	36	79	3,192	
	一 般	平成27年度	件数	6	5	4	11	6	8	8	2	1	3	2	10	66
			人数	10	117	27	67	44	128	57	37	5	5	6	28	531
内県政バス		件数	-	3	0	1	1	2	1	0	-	-	-	-	8	
		人数	-	113	0	37	37	92	30	0	-	-	-	-	309	
平成28年度		件数	3	2	7	7	2	9	3	9	5	1	3	10	61	
		人数	13	3	37	78	2	37	38	53	8	2	6	62	339	
内県政バス		件数	-	0	0	1	0	0	1	0	-	-	-	-	2	
		人数	-	0	0	41	0	0	32	0	-	-	-	-	73	
平成29年度		件数	9	7	3	7	13	7	7	10	1	5	5	9	83	
		人数	53	80	110	62	84	49	95	26	13	9	25	60	666	
内県政バス		件数	-	2	3	1	0	1	2	0	-	-	-	-	9	
		人数	-	71	110	49	0	37	81	0	-	-	-	-	348	
平成30年度		件数	6	8	7	4	6	1	16	13	7	3	4	4	79	
		人数	21	47	49	37	41	2	224	134	13	5	8	7	588	
内県政バス		件数	-	1	1	1	0	0	4	1	-	-	-	-	8	
	人数	-	33	36	32	0	0	142	35	-	-	-	-	278		
令和元年度	件数	7	13	11	7	6	8	4	10	1	0	2	2	71		
	人数	20	169	115	59	36	112	47	78	3	0	3	2	644		
内県政バス	件数	-	4	1	1	0	3	0	0	-	-	-	-	9		
	人数	-	125	30	35	0	103	0	0	-	-	-	-	293		
研 修 教 育	平成27年度	件数	2	2	12	6	6	5	9	14	5	6	12	5	84	
		人数	11	22	275	212	179	193	264	310	115	86	630	135	2,432	
	平成28年度	件数	3	5	6	11	13	7	8	8	2	5	15	5	88	
		人数	56	88	68	171	94	190	262	222	54	96	755	74	2,130	
	平成29年度	件数	2	3	9	17	8	5	10	4	8	5	8	11	90	
		人数	57	82	314	226	53	175	281	47	186	95	356	215	2,087	
	平成30年度	件数	2	1	8	11	10	5	11	5	4	6	8	7	78	
		人数	9	44	173	307	74	149	568	160	291	149	281	192	2,397	
	令和元年度	件数	4	1	8	14	7	4	10	9	5	3	2	1	68	
		人数	50	45	170	419	89	365	213	293	234	186	6	8	2,078	
	相 談	平成27年度	件数	10	13	11	11	10	9	13	10	10	10	12	10	129
			人数	31	47	28	44	45	33	58	32	46	47	63	43	517
平成28年度		件数	10	13	15	7	12	12	12	12	13	11	16	16	149	
		人数	53	57	62	36	65	37	47	52	46	32	57	57	601	
平成29年度		件数	10	12	7	11	12	10	11	6	9	9	7	10	114	
		人数	49	40	17	59	46	29	41	14	31	16	23	23	388	
平成30年度		件数	7	14	10	12	19	11	11	7	11	7	10	10	129	
		人数	14	50	30	59	76	28	31	23	35	17	36	30	429	
令和元年度		件数	10	8	13	11	7	5	9	5	5	5	4	12	94	
		人数	37	32	38	60	32	14	26	26	13	15	25	62	380	
研 究 開 発		平成27年度	件数	1	2	4	1	3	6	3	7	4	3	2	3	39
			人数	4	5	6	8	6	25	20	25	18	8	7	8	140
	平成28年度	件数	2	0	4	1	2	0	2	0	3	1	3	4	22	
		人数	8	0	7	4	2	0	3	0	4	2	9	29	68	
	平成29年度	件数	4	7	5	4	4	5	7	4	5	0	1	0	46	
		人数	14	23	30	12	16	16	27	9	7	0	2	0	156	
	平成30年度	件数	1	0	1	1	3	4	1	1	4	2	0	3	21	
		人数	2	0	7	6	11	25	1	7	21	7	0	15	102	
	令和元年度	件数	1	3	0	3	2	2	1	3	0	2	1	1	19	
		人数	1	13	0	21	8	17	5	5	0	11	2	7	90	

#### 4 リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業

障害者総合支援法や県の地域医療再生計画により、高齢者や障害者の自立支援が重要視される中、平成24年度に実施したリハビリテーション機能強化検討会及びアンケート等の結果を踏まえ、平成25～28年度に身近な地域で福祉用具や住宅改修等によるリハビリテーション技術支援体制の充実を図るモデル事業を実施した。

平成29年度からは、県内各地域で在宅生活を営む高齢者や障害のある方の自立生活や社会参加を一層促進するために、地域の相談支援体制づくりとリハビリテーション技術支援を实践できる人材育成を図っている。

##### (1) 地域における障害（児）者への自立支援機器の普及促進事業

在宅で生活する高齢者や障害のある方の自立生活や社会参加を図るには、在宅での実践的リハビリテーション技術支援が重要となり、各地域でこれらの活動を推進するには、医療・福祉・介護の連携が必要となるため、各地域における支援者同士のネットワークづくり及び適切なリハビリテーション技術支援が提供できる相談支援体制の充実を目指す。

###### ① 普及研修会

各地域での支援者同士のネットワーク強化を目的に、神経難病等重度障害者の在宅生活支援に関する特別講演会、当事者とその家族から在宅生活支援者に向けて在宅生活を送る上で必要な支援のあり方、自立支援機器を活用することの必要性について講演会を開催した。

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会場	参加者数
R1. 9. 16 (月) 13:30～17:00	<b>【特別講演】</b> テーマ「地域包括ケア時代における重度障害者の在宅生活支援 －医療機関と在宅支援者の役割と連携－」 講師：国立病院機構 医王病院 院長 駒井清暢  <b>【当事者・家族からのメッセージ】</b> 当事者：田上弘一 家族	リハビリ テーション センター	63人

###### ② 在宅リハビリテーション検討会

能登北部、能登中部、南加賀、石川中央東(かほく市、津幡町、内灘町、金沢市)、石川中央西(白山市、野々市市、金沢市)の5会場で、リハ専門職、介護支援専門員、相談支援専門員、市町担当者を対象に、医療と在宅のリハビリテーション連携強化を図る勉強会を行い、支援者同士の身近な関係づくりと知識・支援技術の向上を図るための検討会を開催した。

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会場	参加者数
R1. 10. 20(日) 13:30～16:30	<b>【石川中央西（白山市、野々市市、金沢市）地区】</b> ア) 事例提示 居宅介護支援事業所ソーシャルネットかがやき 介護支援専門員 大居美恵子 イ) 同職種(職種別)でのグループワーク(課題の抽出) ウ) 多職種でのグループワーク(対応策の検討) 助言者:国立病院機構 医王病院 院長 駒井清暢 // 医療ソーシャルワーカー 中本富美	リハビリ テーション センター	17

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会 場	参加者数
R1. 10. 26(土) 13:30～16:30	<p>【南加賀地区】</p> <p>ア) 事例提示 相談支援センターたいよう 相談支援専門員 矢鋪幸代</p> <p>イ) 同職種(職種別)でのグループワーク(課題の抽出)</p> <p>ウ) 多職種でのグループワーク (対応策の検討)</p> <p>助言者:国立病院機構医王病院 統括診療部長 高橋和也 " 医療ソーシャルワーカー 中本富美</p>	小松市 公会堂	25
R1. 11. 4 (月) 13:30～16:30	<p>【能登中部地区】</p> <p>ア) 事例提示 中能登社協居宅介護支援センター 介護支援専門員 山本美栄子</p> <p>イ) 同職種(職種別)でのグループワーク(課題の抽出)</p> <p>ウ) 多職種でのグループワーク (対応策の検討)</p> <p>助言者:国立病院機構医王病院 院長 駒井清暢 金沢大学人間社会学域地域創造学類非常勤講師 医療ソーシャルワーカー 馬渡徳子</p>	七尾産業 福祉セン ター	23
R1. 12. 15(日) 13:30～16:30	<p>【能登北部地区】</p> <p>ア) 事例提示 相談支援キララ 相談支援専門員 田中こず恵</p> <p>イ) 同職種(職種別)でのグループワーク(課題の抽出)</p> <p>ウ) 多職種でのグループワーク (対応策の検討)</p> <p>助言者:国立病院機構医王病院 院長 駒井清暢 金沢大学人間社会学域地域創造学類非常勤講師 医療ソーシャルワーカー 馬渡徳子</p>	のと里山 空港	18
R1. 12. 21(土) 13:30～16:30	<p>【石川中央東(かほく市、津幡町、内灘町、金沢市)地区】</p> <p>ア) 事例提示 ケアセンター華 相談支援専門員 北川仁美</p> <p>イ) 同職種(職種別)でのグループワーク(課題の抽出)</p> <p>ウ) 多職種でのグループワーク (対応策の検討)</p> <p>助言者:国立病院機構医王病院 院長 駒井清暢 金沢大学人間社会学域地域創造学類非常勤講師 医療ソーシャルワーカー 馬渡徳子</p>	リハビリ テーション センター	33
合 計			116人

(2) 自立支援機器活用研修事業

① 自立支援機器スペシャリスト育成研修

リハビリテーション専門職及び福祉用具専門相談員を対象に、補装具等に関する知識の習得および適合の実践的演習を実施し、地域でリハビリテーション技術支援ができる人材育成を図る。

ア リハビリテーション専門職研修

i) 実技研修「コミュニケーション支援」

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
第 1 回 R1. 12. 14(土) 10:00～15:00	講義・事例演習「コミュニケーション支援に役立つ知識と技術」 前半：アセスメントするために必要な知識と技術 後半：適合に向けて利用機器の整理 講師：神奈川県総合リハビリテーションセンター 松本琢磨（作業療法士）	リハビリ テーション センター	24
第 2 回 R2. 1. 26(日) 13:30～17:00	事例演習「事例を通じた ①評価と必要条件の整理」 事例提供者：あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーション 岡田恵美（理学療法士） 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 五十嵐満哉（作業療法士）	〃	20
第 3 回 R2. 2. 15(土) 13:30～17:00	事例演習「事例を通じた ②解決案を検討するコツ」 事例提供者：あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーション 岡田恵美（理学療法士） 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 五十嵐満哉（作業療法士）	〃	20
合 計			64 人

ii) フォローアップ研修「車椅子」

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 8. 3 (土) 14:00～16:30	事例演習「事例を通じた車椅子選定、製作に向けての 多職種ディスカッション」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリ テーション センター	17 人

イ 福祉用具専門相談員研修

i) 実技研修「コミュニケーション支援」

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
第 1 回 R1. 12. 14(土) 10:00～15:00	講義・事例演習「コミュニケーション支援に役立つ知識と技術」 前半：アセスメントするために必要な知識と技術 後半：適合に向けて利用機器の整理 講師：神奈川県総合リハビリテーションセンター 松本琢磨（作業療法士）	リハビリ テーション センター	7 人

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
第 2 回 R2. 1. 26(日) 13:30～17:00	事例演習「事例を通した ①評価と必要条件の整理」 事例提供者:あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーション 岡田恵美 (理学療法士) 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 五十嵐満哉 (作業療法士)	リハビリ テーション センター	7 人
第 3 回 R2. 2. 15(土) 13:30～17:00	事例演習「事例を通した ②解決案を検討するコツ」 事例提供者:あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーション 岡田恵美 (理学療法士) 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 五十嵐満哉 (作業療法士)	リハビリ テーション センター	6 人
合 計			20 人

ii) フォローアップ研修「車椅子」

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 8. 3 (土) 14:00～16:30	事例演習「事例を通した車椅子選定、製作に向けての 多職種ディスカッション」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリ テーション センター	4 人

② 自立支援機器情報交換連絡会

障害者や高齢者の自立した在宅生活や積極的な社会参加を目的に、福祉用具メーカーの協力を得て、県内の福祉用具取扱事業者、リハビリテーション専門職、当事者等を対象に自立支援機器の情報交換の場を設けることにより機器の普及促進を図る。

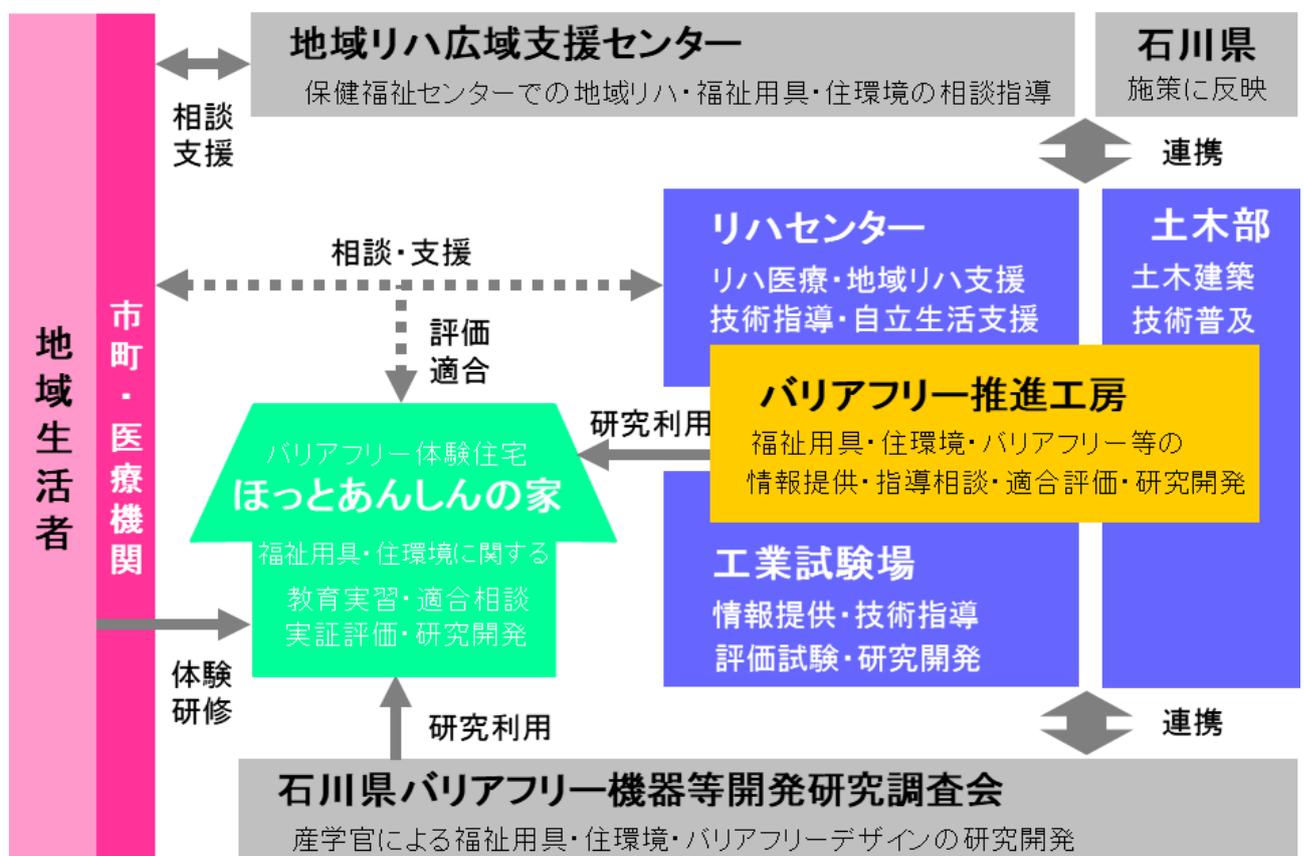
実施年月日	形式	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 7. 18 (木) 16:00～18:00	定期	起居・移乗動作を支援する用具 ～介護用ベッド、リフト・移乗機器、吊り具 等～	リハビリ テーション センター	人 64
R1. 8. 20 (火) 16:00～18:00	〃	水回り動作を支援する用具 ～浴槽台、入浴グリップ、バスボード、手すり 等～	〃	36
R1. 11. 13. (水) 15:00～18:00	〃	コミュニケーションを支援する用具 ～スマホ活用や入力スイッチに関する情報を知ろう～	〃	46
R1. 12. 4 (水)	臨時	車椅子・クッション・マットレス	〃	28
R2. 2. 16 (日)	〃	介護ロボット (介護ロボット石川フォーラム)	いしかわ総 合スポーツ センター	450
合 計				624

## II バリアフリー推進工房の状況

健康福祉社会の構築と新産業の創出に向けて、リハビリテーションセンター、工業試験場、土木部建築住宅課および健康福祉部厚生政策課の連携により、障害者の自立生活支援、福祉用具の開発、製品・住環境のユニバーサルデザイン研究等を行っている。

### 事業と組織の概要

- ・ 障害者個々へのリハビリテーション工学支援技術（福祉用具・住宅改修等による自立生活支援技術）の提供
- ・ 障害者のニーズ把握と身体特性データの蓄積
- ・ リハビリテーション工学支援技術の体系化
- ・ 産学官連携による福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発
- ・ 県内企業・大学・医療福祉関係機関等への情報提供と技術普及



1 福祉用具・住環境に関する相談・支援事業

(1) テクニカルエイド及びボランティア人材育成事業

① テクニカルエイド（福祉用具や住環境の適合・改善によるリハビリテーション技術支援）

医療・福祉機関等が既存技術で解決できない福祉用具や住環境等の適合・改善技術指導を行い、障害者の自立生活を促進する。

平成31年度実績：1,099件

依頼元別内訳

単位：件

依頼元	TA相談	情報提供	設計開発 相談	試作製品 評価	合計
医療福祉機関等	885	129	4	1	1019
教育機関等	62	16	3	4	85
企業等	28	148	115	37	328
行政・公共団体等	124	124	47	0	295
合計	1099	417	169	42	1727

※TA相談：福祉用具活用・住宅改修等によるリハ技術支援に関する相談

用具分類別内訳

単位：件

分類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合計
治療訓練用具	0	5	1	0	6
義肢・装具	7	6	0	0	13
パーソナルケア関連用具(トイレ・入浴・他)	49	11	6	1	67
移動機器(車椅子クッション・他)	30	7	0	0	37
移動機器(リフト)	46	7	0	0	53
移動機器(移乗・体位変換用具)	18	1	4	1	24
移動機器(視覚障害者用機器)	0	0	0	0	0
移動機器(自動車)	14	4	0	0	18
移動機器(車椅子)	229	53	1	3	286
移動機器(電動車椅子)	285	64	79	13	441
移動機器(杖・歩行器)	7	4	12	6	29
家事用具・操作用具(自助具・他)	12	8	12	6	38
家具・建具、建築設備(スロープ・昇降装置・住宅部品・他)	11	10	3	1	25
家具・建具、建築設備(ベッド・机)	17	3	0	0	20
家具・建具、建築設備(椅子・座位保持装置)	142	36	0	1	179
コミュニケーション関連用具(入力装置)	64	25	2	6	97
コミュニケーション関連用具(固定調整具・他)	7	3	0	0	10
コミュニケーション関連用具(呼びベル・緊急通報・環境制御装置)	19	14	1	0	34
コミュニケーション関連用具(視・聴覚障害用)	0	1	0	1	2
コミュニケーション関連用具(対話用機器)	37	18	1	1	57
環境改善機器・作業用具	0	3	0	0	3
レクリエーション用具	8	38	2	2	50

分 類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合 計
都市計画	0	0	2	0	2
公共建築・施設	0	10	34	0	44
住環境	87	15	3	0	105
福祉用具全般	0	51	0	0	51
技術要素	0	6	0	0	6
その他(介護ロボット等)	10	14	6	0	30
合 計	1099	417	169	42	1727

## ② ボランティア人材育成・活用事業

障害のある人のうち特に進行性疾患（難病）には適時適切な自助具の提供が求められるため、当センターが蓄積するテクニカルエイドの実績をもとに、県内の熟年技術者や工学系学生による自助具製作ボランティアとしての人材育成を図る。

今年度は、10名のボランティアにより、家電、呼びベル、電動玩具のスイッチ回路・コネクタ、電動車椅子の改善など7回（延べ8人）の活動を行い、さらに、ボランティアとリハ専門職との情報交換会を開催し、これまでに製作した自助具の成果報告及び障害者が必要とする自助具のニーズについて意見交換を行い、理解を深めた。

開催日	内 容	参加人数
R2.1.8（水） 13:00～16:00	情報交換会 ・自助具製作ボランティア活動のより良い進め方について ・上肢欠損者の補助具に関する情報交換 ・次年度以降の取り組みについて	5人

## 2 研究開発事業

### (1) 自主的研究開発

テクニカルエイドの蓄積データをもとに、高齢者・障害者の生活ニーズ、身体特性、支援技術などを体系的に整理し、福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品に関する自主的研究を実施している。

【テーマ】電動車椅子操作のための身体支持及び微小操作インタフェースの実用化研究

手指を僅かしか動かせない重度四肢麻痺者が電動車椅子を利用するには、微弱な（30gf 未満）操作力に対応する操作インタフェースが必要となる。このため、昨年度試作した触覚センサを応用した操作インタフェースを用いて対象ユーザによるシミュレーションを行うことで、身体特性に応じて必要となる身体支持及び操作固定具等を検討し、その評価具の試作開発を行った。

【委託加工：上肢による電動車椅子操作のための体幹及び上肢支持評価具の試作】



## (2) 他機関との共同研究開発

企業・団体・行政等が単独で解決することができない福祉用具開発やユニバーサルデザインの課題に対して、バリアフリー推進工房が蓄積する技術情報や製品評価・開発技術等のノウハウを提供し、課題解決を図る。

平成31年度実績：企業 300件 行政・団体 328件

### ① 企業との共同研究開発

ア [研究開発型企業重点指導] 姿勢変換可能なコンパクト軽量電動車椅子の開発支援  
：(株)今仙技術研究所

重度の障害がある人が電動車椅子上で日常生活を過ごすには、自身で姿勢変換を行える電動姿勢変換機能や狭い在宅環境における旋回性に優れた小型で軽量の電動車椅子が求められるが、この条件を満たす市販品がない。

そこで、平成23年度から自主研究課題として、姿勢変換及び室内移動が円滑な軽量でコンパクトな電動リクライニング・ティルト式電動車椅子の研究開発に取り組み、その開発条件をもとに実用化を担う今仙技術研究所に対して指導を行い、中輪駆動方式の電動車椅子の試作開発、モニター検証、改善等を重ね、令和2年度当初の製品化を目指している。



イ [研究開発型企業重点指導] 認知・歩行能力が低下した高齢者の歩行車開発支援  
：(株)メディベック

現在、病院や施設等で利用されている歩行車には、大きく分けて制動装置付きのものとそうでないものがあり、利用者の身体特性によって使い分けられているが、利用者の転倒事故や介護職員の見守り負担につながるケースが少なくない。

そこで、当社の共同開発者が保有する特許技術（利用者の歩行能力や認知面等に応じて適度に制動がかかる特殊制動装置）を応用した歩行車の研究開発を支援した。

自らの意思でブレーキ操作が困難な利用対象者を想定し、昨年度に開発した試作品をもとに老人施設等でモニター検証を重ねることにより、対象者に適した歩行車の寸法、形状、制動装置等の仕様決定及び改善試作を図った。



ウ 介護職員の見守り・声かけ時間を削減する介護ロボットの開発支援  
：(公社)石川県作業療法士会、金沢工業大学

現在、介護現場における課題を適切にサポートする介護ロボットの開発が求められており、厚労省が全国の作業療法士協会を拠点に地域の企業、大学と連携した介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会を設置している。

石川県作業療法士会では、移乗・排泄の介助負担に加えて認知面に対する見守りの軽減に注目し、低価格かつ設定が容易で介護者が扱いやすい①朝食時のダイニングでの見守り、②排便時の転倒予防の見守り、③居室で何度も介護者を呼ぶ方への声かけ等のニーズを探求し、連携先の金沢工業大学では評価用ロボットの試作を行い、それぞれの活動に対するコーディネート及び技術支援を行った。

### ② 行政との連携による研究開発（公共施設のユニバーサルデザイン研究）：県土木部

新県立図書館、金沢港クルーズターミナル、北陸新幹線小松・加賀温泉駅等の建設に向けて、障害者団体のヒアリング調査を実施し、誰もが利用しやすい施設設計に反映しており、その他の県有施設等においても、課題が生じた場合は随時ユニバーサルデザイン支援を行っている。

### 3 技術普及・啓発

#### (1) 各部局との連携

- ・身体障害者更生相談所との技術連携・支援（健康福祉部）
- ・バリアフリー社会推進賞の募集・審査（健康福祉部）
- ・学校における福祉用具及びバリアフリー環境等に関する情報提供（教育委員会）

#### (2) 関係機関委員会等への参画

- ・障害者自立支援機器シーズ・ニーズマッチング交流会（公益社団法人 テクノエイド協会）
- ・バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会（北陸信越運輸局）
- ・障害者雇用管理サポート事業（独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構）
- ・福祉機器採択審査・技術委員会（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）

#### (3) 展示会への出展

- ・最新の福祉用具及びバリアフリー推進工房の活動紹介（健康福祉部）
- ・障害者ふれあいフェスティバル（健康福祉部）
- ・障害者スポーツの普及啓発（健康福祉部）

### 4 福祉用具の貸出 979件

関係機関からの依頼により、障害のある人の身体特性に適した福祉用具を試用評価及び選択するため、バリアフリー推進工房が保有する福祉用具を貸出している。

分類	用具	件数	小計
義肢・装具	BFO・スプリングバランサー・スプリント等	23	23
パーソナルケア	トイレ・入浴・更衣・整容	55	55
移動・移乗用具	杖・歩行器	3	476
	車いす	184	
	電動車いす	22	
	クッション	119	
	車いす部品	111	
	リフト・吊り具	7	
	移乗用具等	30	
食事・炊事・操作用具	食事・炊事用具	65	65
家具・建具・建築設備	座位保持装置・いす	49	87
	家具類（机等）	10	
	スロープ・手すり等	28	
コミュニケーション	スイッチ・入力装置	125	251
	意思伝達装置・会話補助装置	30	
	呼び出しベル・環境制御装置	28	
	固定・調整用具	68	
その他	スポーツ・レクレーション用具等	22	22
合計		979件	

### Ⅲ 難病相談・支援センターの状況

#### 1 難病相談

病気や療養上の悩み等に関する相談に応じ、難病患者、家族の不安の軽減を図る。

電 話	面 接	来 所			メール F A X 手紙	その他 (ケース 会議等)	訪 問	合 計
		うち 専門医	うち リハビリ 専門職	うち難病 患者就職 サポーター				
556	128	16	25	8	77	197	51	1,009人

#### 2 患者交流会

難病患者・家族の交流を図る。

##### ①疾患を限定しない交流会

実施年月日	内 容	場 所	回数	参加人数 (うち難病患者)
毎月第2火曜日 13:00～16:30	難病交流会(手工芸、話し合い等) (対象者:難病のある方とその家族)	リハビリテーション センター	11	52 (45)
隔週水曜日 13:30～15:30	パソコン・タブレット教室 (対象者:難病ほか障害のある方)	〃	25	172 (64)
合 計			36回	224 (109) 人

##### ②疾患別交流会

実施年月日	対 象 者	場 所	参加人数
R1. 8. 29 (木) 13:30～15:00	サルコイドーシス	リハビリテーションセンター	7
R1. 9. 4 日 (水) 13:30～15:00	成人スチル病	〃	2
R1. 9. 17 (火) 13:30～15:00	重症筋無力症	〃	3
R1. 9. 26 (木) 13:30～15:00	シェーグレン症候群	〃	5
R1. 10. 7 (月) 13:30～15:00	高安動脈炎	〃	2
R1. 10. 24 (木) 13:30～15:00	顕微鏡的多発血管炎	〃	3
合 計			22人

##### ③ピア・サポート

実施年月日	内 容	場 所
R2. 2. 4 (火) 14:30～16:00	家族から、同じような状況の方と話がしたいとの 相談がありピア・サポーターが対応	リハビリテーション センター

### 3 研修会

難病患者、家族が疾患や療養生活に役立つ知識を得、病気と上手くつき合っていく方法を身につける。

#### (1) 難病患者、家族を対象とした研修会

難病患者、家族が疾患や療養生活に役立つ知識を得て、病気と上手くつき合っていく方法を身につける。

##### ①難病交流会（対象：難病患者、家族）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 8. 6 (火) 13:30～15:30	「難病のある方の就労について」 講師：金沢公共職業安定所 難病患者就職サポーター 国田直樹	リハビリ テーション センター	6
R1. 9. 10 (火) 14:00～15:30	「理学療法士さんと体操しよう ～体調に合わせて体を動かし、元気に日常生活を送ろう～」 講師：リハビリテーションセンター 理学療法士	〃	10
R1. 12. 10(火) 13:30～15:30	「薬剤師さんに聴く薬との付き合い方」 講師：わかひの薬局 薬剤師 照田由香	〃	5
合 計			21 人

##### ②就労相談会（対象：難病患者、家族、支援者）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 10. 15(火) 13:30～15:30	「難病のある方の就労について ～利用できる制度について知ろう～」 講師：金沢公共職業安定所 難病患者就職サポーター 国田直樹	リハビリ テーション センター	3
合 計			3 人

##### ③ピアサポート講座（対象：難病・小児慢性特定疾病患者、家族、ピア・サポーター）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 9. 5 (木) 14:00～16:00	「患者の力」 講師：慶応義塾大学 看護医療学部 教授 加藤眞三	リハビリ テーション センター	52
R1. 10. 1 (火) 14:00～16:00	「サポートの形・サポートのあり方」 講師：国立病院機構 医王病院 心理療法士 多田淑央	〃	8
R1. 10. 31(木) 14:00～16:00	「身体を緩めて気持ち楽になるヨガ ～心を整える呼吸法と姿勢～」 講師：ヨガサークルPanacha 代表 松山幸治	〃	4
合 計			64 人

④セルフマネジメント研修（対象：難病患者・小児慢性特定疾病の患者及び家族）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 9. 14(土) R1. 11. 9(土) 10:00～12:00	「音楽教室」 *SCD・MSA 友の会と共催 講師：齊藤昌子	リハビリ テーション センター	15
R1. 11. 14(木) 13:30～15:30	「笑いヨガでこころもからだもスッキリ！」 講師：ヨガインストラクター 松本節子、石黒優子	〃	4
R1. 11. 26(火) 13:30～15:30	「音楽を心と身体の健康に役立てるには」 講師：音楽工房ゆら 塩崎真希子	〃	4
合 計			23 人

⑤医療講演会・相談会（対象：難病患者、家族、支援者）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 9. 11 (水) 14:00～16:00	「肝・胆道系疾患について ～原発性胆汁性胆管炎、自己免疫性肝炎を中心に～」 講師：金沢医科大学病院 消化器内科 大塚俊美	リハビリ テーション センター	37
R1. 10. 4 (金) 15:00～17:00	「血液難病について ～再生不良性貧血を中心に～」 講師：金沢大学医薬保健研究域医学系 教授 中尾眞二	〃	24
R1. 10. 29(火) 14:00～16:00	「間脳下垂体障害について」 講師：石川県立中央病院 糖尿病・内分泌内科 診療部長 藤井寿美枝	〃	24
合 計			85 人

⑥社会保障制度に関する講演会（対象：難病患者、家族）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 11. 20(水) 13:30～15:30	「難病・高次脳機能障害のある方に知ってほしい社会保障制度」 講師：なごし睦子社会保険労務士事務所 名越睦子 *高次脳機能障害本人・家族教室と合同開催	リハビリ テーション センター	24
合 計			24 人

⑦小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（対象：小児慢性特定疾病児童の家族、支援者）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 10. 23(水) 13:30～15:30	「小児のリウマチ・膠原病について」 講師：金沢大学附属病院 小児科 清水正樹	リハビリ テーション センター	8
R1. 11. 19. (火) 13:30～15:30	「小児がんの長期フォローアップと晩期合併症について」 講師：金沢大学附属病院 小児科 伊川泰広	〃	19
R1. 11. 22(金) 13:30～15:30	「小児のてんかんについて ～點頭てんかん・乳児重症ミオクロニーてんかんを中心に～」 講師：浅ノ川総合病院 小児科医長 中川裕康		17
合 計			44 人

⑧医療的ケア児の家族向け学習交流会（対象：医療的ケアが必要な児童の家族、支援者）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 9. 29（日） 10:00～13:00	「家族ができる医療的ケア児の体調管理 ～呼吸を楽にするための鼻、口、喉、お腹へのアプローチ～」 講師：看護・介護アドバイザー 高野明美	小松サン・ア ビリティーズ	14 (他託児2)
R1. 11. 10(日) 10:00～12:30	「医療的ケア児と家族のリラクゼーション ～親子でできるアロマセラピーを体験してみよう～」 講師：心理士 山崎栄子	〃	20 (他託児2)
合 計			34人

(2) 難病患者の支援関係者を対象とした研修会

介護支援専門員等の難病支援関係者や、将来難病患者の支援に携わる可能性のある医療・福祉系の学生が難病に関する知識を得て、適切な難病患者支援が行えるようにする。

①難病患者生活支援啓発普及事業(語り部事業)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 7. 10（水） 13:00～14:30	「難病患者体験談」 講師：筋ジストロフィー当事者	石川県立 看護大学	80
R1. 7. 31（水） 10:40～12:20	「患者会活動と難病患者体験談」 講師：全国パーキンソン病友の会石川県支部 事務局長・会員	七尾看護 専門学校	40
R1. 10. 21(月) 10:30～12:00	「難病患者・家族の体験談」 講師：もやもや病の患者と家族の会北陸ブロック 代表世話人、当事者	公立小松 大学	50
R1. 11. 13(水) 13:00～14:20	「患者会活動と難病患者体験談」 講師：石川県OPL友の会 会長、事務局長	専門学校 アリス学園	65
合 計			235人

②難病ホームヘルパー養成研修・介護支援専門員難病研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R2. 1. 24（金） 13:00～17:15	「石川県の難病対策」 講師：県健康推進課職員 「難病相談・支援センターについて」 講師：難病相談・支援センター職員 「神経難病の理解」 講師：国立病院機構医王病院 医師 疋島貞雄 「在宅難病患者への看護 ～在宅ケアチームにおける看護師の役割や介護職との連携～」 講師：国立病院機構医王病院 認定難病看護師 能登有紀子 「難病患者さんと家族への精神的支援 ～心の支えとなるための傾聴の基本～」 講師：国立病院機構医王病院 ソーシャルワーカー 吉田 力	リハビリ テーション センター	67
合 計			67人

#### 4 連携会議

関係機関同士で情報交換を行い、互いの連携を図る。

##### (1) 難病患者団体等連絡会

実施年月日	連絡会テーマ	会場	参加者数
R1. 5. 22(水) 13:30～15:30	平成 31 年度 難病関連事業計画、各患者会活動計画について	リハビリ テーション センター	14
R1. 9. 19(木) 14:00～16:00	防災学習会 「難病・小児慢性特定疾病患者と家族が災害に備えるということ ～最近の災害から普段の備えや確認すべきことを考える～」 講師:防災士 北村秀夫	”	11
合計			25 人

##### (2) 難病事業にかかる県拠点病院との連携

県拠点病院である金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、医王病院に難病事業の周知を行った。特に、神経難病拠点病院である医王病院とは年度当初に事業打合せを行い、連携強化を図った。

##### (3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業にかかる関係機関との連携

小児慢性特定疾病児童が多く受診する医療機関等（19機関）に対し、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について広く周知を行った。

## 5 職員派遣

患者会等からの要望に応じ、講義や実技、交流会等の活動支援を行う。

実施年月日	内容	会場	参加者数
H31.4.13(土) 10:00～12:30	いしかわSCD・MSA友の会 2019年度総会 (SCD:脊髄小脳変性症、MSA:多系統萎縮症)	リハビリテーションセンター	16
H31.4.21(日) 13:00～16:00	石川県OPLL友の会 第18回定期総会・医療講演会 (OPLL:後縦靭帯骨化症)	金沢市近江町交流プラザ	34
H31.4.23(火) 13:00～16:00	北陸肺高血圧症の会 第1回交流会	リハビリテーションセンター	14
R1.5.19(土) 14:00～15:30	第14回「北陸リウマチ膠原病支援ネットワーク」サポーター会議	第1生命ビルヴィサージュ	14
R1.6.22(土) 14:00～15:15	全国パーキンソン病友の会石川県支部ミニ勉強会	金沢フィジオセンター	30
R1.6.23(日) 13:00～15:30	公益社団法人日本リウマチ友の会石川支部 第48回大会・医療講演会	金沢市松ヶ枝福祉館	41
R1.9.21(土) 12:30～16:30	全国パーキンソン病友の会石川県支部 第5回運動を楽しむ会	金沢市障害者高齢者体育館	40
R1.10.17(木) 13:30～15:30	石川中央保健福祉センター 神経難病患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	津幡地域交流センター	6
R1.10.28(月) 13:30～15:30	石川中央保健福祉センター 神経難病患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	白山市 福祉ふれあいセンター	32
R1.10.31(月) 14:00～16:15	能登中部保健福祉センター 後縦靭帯骨化症講演会・交流会 講師:リハビリテーションセンター職員	能登中部保健福祉センター 羽咋地域センター	15
R1.11.20(水) 13:30～15:30	能登北部保健福祉センター 難病相談会 講師:リハビリテーションセンター職員	生涯学習センター能登分室	9
R1.11.24(日) 11:00～16:30	全国パーキンソン病友の会石川県支部創立20周年記念式典 基調講演、パネルディスカッション	金沢市文化ホール	148
R1.11.29(金) 14:00～16:00	南加賀保健福祉センター パーキンソン病関連疾患患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福祉センター	13
R1.12.1(日) 13:30～16:00	第14回北陸リウマチ膠原病支援ネットワークの集い	ホテル日航金沢	70
R1.12.6(金) 14:00～16:00	南加賀保健福祉センター 後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福祉センター	6
合計			488人

## 6 啓発・普及

難病や小児慢性特定疾病の患者や家族に対して、当センターや地域の保健所の活動及び患者会情報を適切な時期に的確に情報提供する。

難病医療費受給者へ事業案内のチラシ（難病 9,000部、小児慢性 800部）を作成し配布。

#### IV 高次脳機能障害相談・支援センターの状況

##### 1 高次脳機能障害相談

脳血管障害や交通事故等で脳に損傷を負い、注意障害、記憶障害等の症状により社会適応が困難となった高次脳機能障害者や家族の日常生活や就労、就学等に関する相談に応じ、不安の軽減を図る。

電 話	面 接	メール等	訪問	合計（実人数）
560	127	60	64	811(131)人

##### 2 高次脳機能障害者及び家族を対象にした教室

###### (1) 生活支援教室

グループプログラムを通し自身の障害について理解を深め、家庭生活の自立や社会参加に向けて必要な代替手段を獲得する。

実施年月日	内 容	会 場	回数	参加人数 (のべ人数)
毎週水曜日 9:30～12:00	・体調チェック、教室の目的確認、体操、ゲーム ・学習、認知課題に取組み、話し合い 等	リハビリテーションセンター、ほっとあんしんの家	31回	6(86)人

###### (2) 就労者のつどい（わくワークの会）

当事者同士が就労の中で生じる悩みを語り合い、精神的な安定を図る

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
R1.7.7(日) 13:30～16:10	・自己紹介 ・金沢障害者就業・生活支援センターの紹介 ・座談会（楽しく仕事ができているか、職場で困ったとき相談できる人がいるか、婚活等）	リハビリテーションセンター、ほっとあんしんの家	7
R1.11.30(土) 13:30～16:00	・自己紹介 ・石川障害者職業センターの紹介 ・座談会（会社は自分の能力を評価してくれているか、体調を崩さないような仕事の工夫等）	〃	4
合 計			11人

###### (3) 講 座

本人・家族が高次脳機能障害を理解し、適切に対応することで生活の質を高める。

また、参加者同士の交流も図る。（※つばさ：高次脳機能障害患者と家族の会）

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
R1.7.5(金) 13:30～15:40	(第1回) 講義「障害の理解と対応について」 講師：リハビリテーションセンター作業療法士 座談会 助言者：つばさ会員	リハビリテーションセンター	10 つばさ3
R1.9.3(火) 13:30～15:40	(第2回) 講義「利用できる社会資源について」 講師：リハビリテーションセンター保健師 座談会 助言者：つばさ会員	〃	3 つばさ3

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
R1. 11. 20 (水) 13:30～ 15:30	(第3回) 講義「社会保障制度について」 講師：なごし睦子社会保険労務士事務所 名越睦子 *難病社会保障制度講演会と合同開催	〃	4
R2. 1. 20 (月) 13:30～ 16:00	(第4回) 講義「就労について」 講師：金沢障害者就業・生活支援センター 就業支援担当 小鍛治康生 座談会 助言者：つばさ会員	〃	7 つばさ3
R2. 3. 6 (金) 13:30～ 16:00	(第5回) 講義「高次脳機能障害患者と家族の会つばさについて」 講師：患者と家族の会つばさ 代表 上口由美子 座談会 助言者：つばさ会員	〃	4 つばさ2
合 計			39人

#### (4) その他

実施年月日	内 容	会 場	回数	参加者数 (延べ人数)
隔週水曜日	パソコン・タブレット教室	リハビリテーションセンター	11回	2(12)人

### 3 高次脳機能障害支援に関する研修

高次脳機能障害者の支援に必要な知識と技術を習得し、社会生活を見据えた支援を行うことができることを目指す。

#### (1) センター主催分

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 7. 11 (木) 13:30～16:00	講演1「高次脳機能障害の医学的知識と地域の取組み」 講演2「高次脳機能障害への対応」 講演3「高次脳機能障害相談・支援センターについて」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	35
R1. 7. 24 (水) 14:00～16:30	講演1「高次脳機能障害の医学的知識と地域の取組み」 講師：やわたメディカルセンター リハビリテーション科長 池永康規 講演2「高次脳機能障害への対応」 講演3「高次脳機能障害相談・支援センターについて」 講師：リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福祉センター	27
R1. 7. 30 (火) 14:30～17:00	講演1「高次脳機能障害の医学的知識と地域の取組み」 講師：恵寿総合病院 副院長 川北 慎一郎 講演2「高次脳機能障害への対応」 講演3「高次脳機能障害相談・支援センターについて」 講師：リハビリテーションセンター職員	能登中部保健福祉センター	14
合 計			76人

(2) 他機関主催分 (講師協力)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 6. 7 (金) 11:45～12:10	(精神保健福祉医療担当者研修会) 講義「高次脳機能障害相談」 講師:リハビリテーションセンター 保健師	こころの健康センター	60
R1. 8. 22 (木) 11:10～12:00	(令和元年度障害者相談支援従事者研修 (現任研修)) 講義「地域での取組みについて リハビリテーションセンターにおける取組み ～高次脳機能障害者への支援を中心に～」 講師:リハビリテーションセンター 保健師	金沢流通会館	79
合 計			139 人

4 高次脳機能障害の普及啓発

(1) 普及啓発講演会 (石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会)

当事者・家族に加え、一般県民も対象とした講演会の開催により、高次脳機能障害に関する知識の普及を図る。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 12. 1 (日) 13:30～16:00  * 高次脳機能障害患者と家族の会つばさと共催	第1部 講演 「高次脳機能障害者～当事者と家族への心理支援～」 講師:中央大学大学院非常勤講師 日本高次脳機能障害友の会顧問 山口加代子 第2部 シンポジウム 「高次脳機能障害～自分らしく生きる～」 シンポジスト:当事者・家族 助言者:山口加代子	リハビリテーションセンター	104
合 計			104 人

(2) 出前講座 (もっと知ってほしい「高次脳機能障害」)

広く県民に対し、外見からわかりにくい高次脳機能障害を理解してもらい、地域での支援の輪を広げることを目的とする。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
R1. 8. 19 (月) 14:30～16:00	講義1「高次脳機能障害～原因、症状、対応等～」 講師:リハビリテーションセンター 作業療法士 講義2「高次脳機能障害相談・支援の実際、支援例」 講師:リハビリテーションセンター 保健師	南ヶ丘病院	39
R1. 8. 23 (金) 13:30～14:30		金沢病院健康管理センター	18
R1. 8. 27 (火) 13:20～14:10		県立松任高等学校	34
合 計			91 人

(3) 情報発信

リーフレット等での情報発信により高次脳機能障害への理解・知識の普及を図る。

5 高次脳機能障害支援関係者連絡会

高次脳機能障害者の社会参加の促進に向け、昨年度に引き続き、医療機関での対応の現状を把握し、支援上の課題や連携方法について検討する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
R1. 9. 13 (金) 16:00～17:00	医療機関における高次脳機能障害者への対応状況や 課題の聞き取り及びセンターの事業紹介	小松市民 病院	13
R1. 9. 17 (火) 13:00～14:00	〃	金沢西病院	26
R1. 9. 17 (火) 16:30～17:30	〃	公立能登 総合病院	21
合計			60人

6 患者・家族会支援

高次脳機能障害患者と家族の会つばさの円滑な運営及び活動を支援する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
R1. 7. 5 (金) 16:00～17:00	講習会開催に向けた打ち合わせ ・日程、テーマ、講師案について	リハビリテー ションセンター	7
R1. 8. 9 (金) 15:00～16:30	第1回実行委員会 ・スケジュールの確認、役割分担	〃	11
R1. 9. 27 (金) 15:00～16:30	第2回実行委員会 ・経過報告、今後の作業及び当日役割分担の確認	〃	11
R1. 11. 15(金) 15:00～16:30	第3回実行委員会 ・経過報告、今後の作業及び当日役割分担の確認 ・当日の流れ最終確認	〃	9
合計			38人